

「100gの野菜」実物大模型の作り方 -にんじん、きゅうり、かぼちゃ、ほうれん草-

作成材料

軽い紙粘土 300g、水彩絵の具、筆、ラップフィルム、接着剤(木工用)、マグネットシート 1枚、
マグネット 3個、水性ニス(透明)100ml、ほうれん草おひたし用(角皿(白)) 9cm×9cm

にんじん(1本 100g) 紙粘土

①紙粘土で100gのにんじんと同じ形をつくる。



②にんじんの頭の部分を指でへこませて、うぐいす色の絵の具を混て、ぜた紙粘土を丸めて頭の部分に埋め込む。



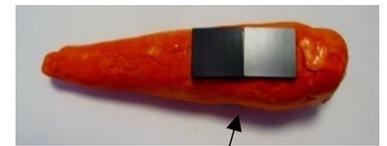
③オレンジ色の絵の具を塗る



④一日置いてから、絵の具の筆で水性ニスを塗る。うぐいす色(水性ニスにより、色にツヤがでる。また、水性ニスにより、材料に強度がでる)



⑤水性ニスが乾いてから、黒板掲示用に接着剤でマグネットを貼りつける。



マグネットシート

きゅうり(1本 100g) 紙粘土

①紙粘土で100gのきゅうりと同じ形をつくる。

②うぐいす色、緑色の絵の具の絵、緑色に黒を混ぜた絵の具を重ねて塗ってきゅうりの色に近づける。



マグネットシート



③以下、にんじんと同じ要領で作成する。

かぼちゃ(100g) 紙粘土 50g

①紙粘土で100gのかぼちゃと同じ形をつくる。

②かぼちゃの実の部分にクリーム色、黄色、うすいオレンジ色の絵の具を重ねてあわせて塗りかぼちゃの実の色にする。

③以下、にんじんと同じ要領で作成する



マグネット



ほうれん草(100g) 紙粘土

①紙粘土で 100g のほうれん草と同じ葉型をラップの上でのばして作る。



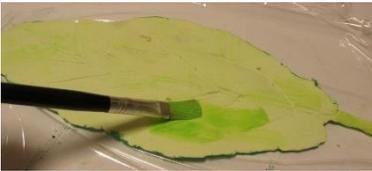
②箸で葉型の模様をつける。



③うぐいす色、緑色、深緑色の絵の具を重ね合わせて塗りほうれん草の葉の色にする。



④絵の具が乾いたら、ラップの上で裏返して裏にも絵の具を塗りほうれん草の葉の色にする。



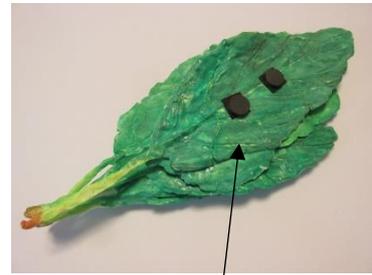
⑤紙粘土が固まる前に、ラップの上で葉の形におうとつをつける。①から⑤の要領で大きさを変えた葉を 6 枚作り、一日置いてから水性ニス塗る。



⑥葉と葉を接着剤でとめて、ほうれん草の葉の塊にする。



⑦接着剤が乾いてから、黒板掲示用に接着剤でマグネットを貼りつけてとめる。



ほうれん草のおひたし(100g) 紙粘土

マグネットシート

①紙粘土で、ゆでた、100g のほうれん草のおひたしの塊と同じ大きさを作る。



②紙粘土の表面をほうれん草の塊の模様を爪で引っ掻いて作る。



③ゆでたほうれん草のおひたしの塊の色をうぐいす色、薄緑、緑、濃い緑色を混ぜて塗っていく。



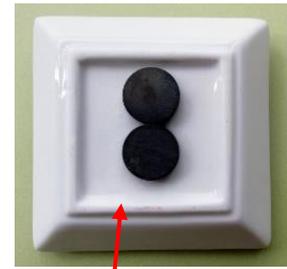
④一日置いてから、水性ニス
を塗る。



⑤水性ニスが乾いてから、おひたし
の塊の下部を接着剤で、白い皿に
接着する。



⑥白い皿の底に黒板掲示用に接着剤で
マグネットを貼りつけてとめる。



マグネット

「野菜模型の制作をして」

軽い紙粘土を使った野菜模型は思ったより簡単に作れました。絵の具で色を塗り、乾いたら水性ニスを塗ると思った以上にきれいな仕上がりになりました。材料費も水彩絵の具を除くと、1000円程度でできました。絵の具を十分に乾かしても、水性ニスを塗ると、塗った絵の具が少し溶け出したりしますので、色の違うパーツごとに、筆を取り換えてニスを塗るよう

指導方法

100gの野菜の実物大の野菜模型として使用



100gのほうれん草の実物大の模型と、湯がいた模型として使用

